学校番号	２１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)物理基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新課程版 セミナー物理基礎（第一学習社） 新課程　大学入学共通テスト対策　チェック＆演習（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・物理基礎で学習した物体の運動と様々なエネルギーについての理解を深めるための演習を行う。
・既に学習した物理基礎の様々な概念や法則を関連付けて、科学的に探究する力を養い、実践する。

２　学習の到達目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)物理基礎で身に付けた知識や技能を用いて、物体の運動と様々なエネルギーについてより深く理解するとともに、観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。

(2)観察、実験の結果を科学的に考察し、探究する力を養い、規則性や関係性を見出して表現する力を養う。

(3) 物体の運動と様々なエネルギーについて粘り強く考え、科学的に探究しようとする態度を養い、問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、規則性や関係性を見出して表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期 3学期	物体の運動とエネルギー	1 物体の運動 2 落下運動 3 力のつりあい 4 運動の法則 5 力学的エネルギー	a:物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動の表し方、様々な力とその働き、力学的エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 b:物体の運動とエネルギーについての観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、規則性や関係性を見出して表現している。 c:物体の運動とエネルギーについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題 振り返り
	様々な物理現象とエネルギーの利用	6 熱とエネルギー 7 波の性質 8 音波 9 静電気と電流 10 電流と磁場 11 エネルギーとその利用	a: 様々な物理現象とエネルギーの利用を日常生活や社会と関連付けながら、熱、波、電気、エネルギーとその利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 b:様々な物理現象とエネルギーの利用についての観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、規則性や関係性を見出して表現している。 c:様々な物理現象とエネルギーの利用について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題 振り返り
	実践演習		a:日常生活や社会と関連付けながら、物理的な事物・現象を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 b:物理的な事物・現象についての観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、規則性や関係性を見出して表現している。 c:物理的な事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度